

2020年8月5日

2021年3月期 第1四半期決算について

株式会社 広島銀行（頭取 部谷 俊雄）では、2021年3月期 第1四半期決算を実施いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 広島銀行 総合企画部
TEL (082) 247-5151 (代表)

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月5日

上場会社名 株式会社 広島銀行
 コード番号 8379 URL <https://www.hirogin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部主計課長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 部谷 俊雄
 (氏名) 内田 一弘
 TEL 082-247-5151
 特定取引勘定設置の有無 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	26,797	△13.9	6,275	△36.8	4,491	△35.6
2020年3月期第1四半期	31,112	1.0	9,926	5.3	6,976	6.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 11,685百万円 (124.2%) 2020年3月期第1四半期 5,211百万円 (8.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	14.41	14.40
2020年3月期第1四半期	22.40	22.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,188,079	489,625	4.8
2020年3月期	9,438,609	482,057	5.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 489,498百万円 2020年3月期 481,880百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	9.00	—	13.50	22.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当行は、関係当局の認可等を得られることを前提に、2020年10月1日付で、株式移転により持株会社を設立する予定です。
 配当予想については、現在の当行組織を前提に算定しており、持株会社の配当予想は、改めて発表する予定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,000	△1.2	17,000	△13.1	11,500	△14.9	36.92
通期	127,500	0.3	33,500	△14.1	22,500	△7.3	72.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 当行は、関係当局の認可等を得られることを前提に、2020年10月1日付で、株式移転により持株会社を設立する予定です。
 業績予想については、現在の当行組織を前提に算定しており、持株会社の業績予想は、改めて発表する予定です。
 2. 現時点で当行が把握可能な情報に基づいて、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を見込んでおりますが、当予想は大きく変動する可能性があります。感染拡大が長期化した場合の影響は別途検討します。今後、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	312,633,171 株	2020年3月期	312,633,171 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	1,000,530 株	2020年3月期	1,169,734 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	311,531,921 株	2020年3月期1Q	311,425,737 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(追加情報)	P. 6
2020年度第1四半期 決算説明資料	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結経営成績につきましては、経常収益は、国債等債券売却益の減少によるその他業務収益の減少と株式等売却益の減少によるその他経常収益の減少を主因として、前年同期比43億15百万円減少し、267億97百万円となりました。一方、経常費用は、国債等債券売却損の減少によるその他業務費用の減少を主因として、前年同期比6億64百万円減少し、205億22百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比36億51百万円減益の62億75百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比24億85百万円減益の44億91百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

連結財政状態につきましては、貸出金は、事業性貸出等と個人ローンがともに増加した結果、前連結会計年度末比1,652億円増加の6兆6,485億円となりました。預金等（譲渡性預金含む）は、個人預金、法人預金、公金・金融預金とも増加し、前連結会計年度末比7,262億円増加の8兆4,174億円となりました。有価証券は、前連結会計年度末比742億円増加し、1兆2,000億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2020年5月12日公表の数値から変更はありません。

なお、現時点で当行が把握可能な情報に基づいて、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を見込んでおりますが、当予想は大きく変動する可能性があります。感染拡大が長期化した場合の影響（与信費用の増加、株価下落による保有有価証券の減損処理（株式等償却）、渉外活動自粛の長期化等による役務取引等収益の減少など）は別途検討します。今後、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	1,472,936	1,985,298
コールローン及び買入手形	6,711	8,962
買入金銭債権	7,820	7,311
特定取引資産	6,241	6,061
金銭の信託	9,971	11,672
有価証券	1,125,896	1,200,049
貸出金	6,483,336	6,648,562
外国為替	34,990	9,730
その他資産	113,677	126,827
有形固定資産	93,446	100,517
無形固定資産	9,244	8,994
退職給付に係る資産	70,853	72,005
繰延税金資産	705	641
支払承諾見返	36,470	36,860
貸倒引当金	△33,692	△35,416
資産の部合計	9,438,609	10,188,079
負債の部		
預金	7,529,577	7,953,908
譲渡性預金	161,708	463,545
コールマネー及び売渡手形	100,000	—
売現先勘定	79,420	141,141
債券貸借取引受入担保金	321,008	364,466
特定取引負債	3,814	3,504
借入金	641,035	656,336
外国為替	3,502	1,065
信託勘定借	32	28
その他負債	61,004	54,757
退職給付に係る負債	43	44
役員退職慰労引当金	29	29
睡眠預金払戻損失引当金	2,530	2,329
ポイント引当金	142	138
株式給付引当金	547	518
固定資産解体費用引当金	1,177	1,177
特別法上の引当金	38	25
繰延税金負債	861	4,969
再評価に係る繰延税金負債	13,605	13,605
支払承諾	36,470	36,860
負債の部合計	8,956,552	9,698,454

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
資本金	54,573	54,573
資本剰余金	30,740	30,743
利益剰余金	347,714	347,989
自己株式	△998	△852
株主資本合計	432,030	432,453
その他有価証券評価差額金	15,010	22,152
繰延ヘッジ損益	△5,025	△4,774
土地再評価差額金	27,781	27,781
退職給付に係る調整累計額	12,084	11,885
その他の包括利益累計額合計	49,850	57,044
新株予約権	176	126
純資産の部合計	482,057	489,625
負債及び純資産の部合計	9,438,609	10,188,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
経常収益	31,112	26,797
資金運用収益	19,146	17,982
(うち貸出金利息)	15,403	14,764
(うち有価証券利息配当金)	3,422	3,029
信託報酬	41	18
役務取引等収益	6,588	6,223
特定取引収益	632	669
その他業務収益	2,502	1,290
その他経常収益	2,201	613
経常費用	21,186	20,522
資金調達費用	2,211	1,227
(うち預金利息)	506	379
役務取引等費用	2,033	1,860
その他業務費用	955	391
営業経費	14,719	14,674
その他経常費用	1,266	2,368
経常利益	9,926	6,275
特別利益	1	26
固定資産処分益	—	12
金融商品取引責任準備金取崩額	1	13
特別損失	7	18
固定資産処分損	7	17
減損損失	—	1
税金等調整前四半期純利益	9,919	6,283
法人税、住民税及び事業税	1,800	837
法人税等調整額	1,142	954
法人税等合計	2,943	1,791
四半期純利益	6,976	4,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,976	4,491

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	6,976	4,491
その他の包括利益	△1,764	7,193
その他有価証券評価差額金	342	7,140
繰延ヘッジ損益	△1,934	251
退職給付に係る調整額	△170	△199
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
四半期包括利益	5,211	11,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,211	11,685

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定)

前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 注記事項(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) 4. 会計方針に関する事項 (5) 貸倒引当金の計上基準(追加情報)」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(単独株式移転による持株会社体制への移行について)

当行は、2020年5月12日開催の取締役会において、当行の定時株主総会における承認及び必要な関係当局の認可等が得られることを前提として、2020年10月1日(予定)を期日として、当行単独による株式移転により持株会社(完全親会社)である「株式会社ひろぎんホールディングス」を設立し、持株会社体制へ移行することを決議いたしました。

詳細につきましては、2020年5月12日に公表いたしました「単独株式移転による持株会社体制への移行に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2020年6月25日に開催された当行の定時株主総会において、株式移転計画について承認されております。

2020年度第1四半期 決算説明資料

1. 損益の状況

- ・**コア業務純益**は、子会社・関連会社からの受取配当金など有価証券利息配当金の増加による資金利益の増加を主因として、**前年同期比22億24百万円増益の103億37百万円**となりました。
- ・**経常利益**は、国債等債券関係損益と株式等関係損益の減少に加え、与信費用が増加したことから、**前年同期比10億92百万円減益の93億52百万円**となり、**四半期純利益**は、**前年同期比4億73百万円減益の74億16百万円**となりました。
- ・**親会社株主に帰属する四半期純利益**は、単体で計上した子会社・関連会社からの受取配当金を消去した結果、**前年同期比24億85百万円減益の44億91百万円**となりました。

【単体】

	2020年度 第1四半期 (3ヵ月間) (A)	前年 同期比 (増減率)		2019年度 第1四半期 (3ヵ月間)
経常収益	28,822	△ 1,749	(5.7%)	30,571
資金利益 (うち有価証券利息配当金)	20,340 (6,667)	2,312 (2,078)		18,028 (4,589)
役務取引等利益	3,164	△ 148		3,312
特定取引利益	128	33		95
その他業務利益 (除く国債等債券関係損益)	292	△ 33		325
コア業務粗利益	23,925	2,162	(9.9%)	21,763
△経費(除く臨時処理分) (うち△人件費) (うち△物件費)	13,588 (6,825) (5,848)	△ 61 (140) (56)		13,649 (6,965) (5,792)
コア業務純益	10,337	2,224	(27.4%)	8,113
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	10,337	2,224	(27.4%)	8,113
国債等債券関係損益	596	△ 622		1,218
実質業務純益	10,933	1,602	(17.2%)	9,331
株式等関係損益	△ 50	△ 1,949		1,899
△与信費用 (うち△一般貸倒引当金繰入額)	1,860 (1,371)	760 (1,380)		1,100 (9)
その他臨時損益	328	16		312
経常利益	9,352	△ 1,092	(10.5%)	10,444
特別損益	△ 5	△ 171		166
税引前四半期純利益	9,346	△ 1,264	(11.9%)	10,610
△法人税等合計	1,930	△ 791		2,721
四半期(中間)純利益	7,416	△ 473	(6.0%)	7,889

(単位:百万円)

2020年度 中間期 (6ヵ月間) 業績予想 (B)	(進捗率) (A)/(B)
62,000	46.5%

18,500	50.6%
--------	-------

13,500	54.9%
--------	-------

【連結】

経常収益	26,797	△ 4,315	(△ 13.9%)	31,112
経常利益	6,275	△ 3,651	(△ 36.8%)	9,926
親会社株主に帰属する 四半期(中間)純利益	4,491	△ 2,485	(△ 35.6%)	6,976

63,000	42.5%
--------	-------

17,000	36.9%
--------	-------

11,500	39.1%
--------	-------

2. 貸出金残高【単体】

- ・貸出金残高は、事業性貸出等と個人ローンがともに増加した結果、2019年6月末比4,077億円(年率+6.5%)増加し6兆6,450億円となりました。
- ・事業性貸出等のうち従来から重点的に取り組んでいる中小企業向け貸出金残高は、2019年6月末比1,383億円(年率+5.4%)増加し2兆6,920億円となりました。

(単位:億円)

	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比		
			年率	増減率	
貸出金残高	66,450	4,077	6.5%	1,653	2.6%
事業性貸出等	50,255	3,517	7.5%	1,651	3.4%
うち中小企業向け貸出	26,920	1,383	5.4%	473	1.8%
個人ローン	16,194	559	3.6%	2	0.0%

3. 預金等残高【単体】

- ・預金等残高は、個人預金、法人預金、公金・金融預金とも増加した結果、2019年6月末比5,671億円(年率+7.2%)増加し8兆4,346億円となり、初めて8兆円を突破致しました。

(単位:億円)

	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比		
			年率	増減率	
預金等残高	84,346	5,671	7.2%	7,256	9.4%
個人預金	52,261	2,932	5.9%	2,263	4.5%
法人預金	25,604	1,670	7.0%	2,024	8.6%
公金・金融預金	6,480	1,068	19.7%	2,969	84.6%

(注)預金等は、譲渡性預金を含んでいます。

4. 総預り資産残高【ひろぎん証券含む】

- ・総預り資産残高は、非預金商品残高(ひろぎん証券含む)は減少したものの、預金等残高が増加した結果、2019年6月末比5,385億円(年率+5.7%)増加し9兆9,738億円となりました。

(単位:億円)

	2020年6月末	2019年6月末比	2020年3月末比		
			年率	増減率	
総預り資産残高(ひろぎん証券含む)	99,738	5,385	5.7%	7,587	8.2%
非預金商品(ひろぎん証券含む)	15,392	△286	△1.8%	332	2.2%
預金等	84,346	5,671	7.2%	7,256	9.4%
(参考)日経平均株価	22,288円	1,013円		3,371円	

(注)ひろぎん証券の非預金商品残高は、時価ベースです。

5. 金融再生法ベースの 카테고리による開示不良債権額【単体】

(単位:億円、%)

	2020年6月末	2020年3月末比	2020年3月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	56	△ 5
危険債権	479	18	461
要管理債権	223	47	176
合計	757	59	698
総与信額	67,266	1,673	65,593
不良債権比率	1.13	0.07	1.06

(注)上記の2020年6月末計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の 카테고리により分類しております。

また、同計数は、当行の定める自己査定基準に基づく2020年6月末時点の資産査定の結果による債務者区分を基に集計しております。

6. 自己資本比率【連結・単体】

【連結】

(単位:億円、%)

	2020年6月末	2020年3月末比	2020年3月末
	(1) 自己資本の額	4,017	24
(2) リスク・アセット等の額の合計額	36,904	258	36,646
(3) 連結自己資本比率 (1) ÷ (2)	10.88	△ 0.01	10.89

【単体】

(単位:億円、%)

	2020年6月末	2020年3月末比	2020年3月末
	(1) 自己資本の額	3,952	56
(2) リスク・アセット等の額の合計額	37,046	290	36,756
(3) 自己資本比率 (1) ÷ (2)	10.66	0.07	10.59

(注)信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。

7. 有価証券評価損益【単体】

(単位:億円)

	2020年6月末				2020年3月末		
	評価損益	2020年3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
その他有価証券	312	104	449	137	208	387	179
株式	286	64	343	57	222	288	66
債券	25	△ 26	52	27	51	62	10
その他	△ 0	65	52	53	△ 65	36	101
合計	312	104	449	137	208	387	179

(注)非上場株式等については、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。